



令和7年度近畿ブロック老人クラブリーダー研修会

神戸で10年ぶり開催 高齢期をどう生きるか

令和7年6月26日(木)、10年ぶりに神戸市が開催地となり、近畿ブロック老人クラブリーダー研修会が開催されました。会場の神戸市産業振興センターには、近畿2府4県4政令市から約220名の参加があり、神戸市老連から44名が参加しました。

老人クラブの物故者への黙とうを捧げたあと、近畿老人クラブ連絡協議会中村美津子会長の開会挨拶に続き、長の開会挨拶に続き、来賓挨拶をいただき、本研修会が始まりました。

午前中は、全国老人クラブ連合会松島紀由常務理事による基調報告と、神戸市シルバークレッシェ前田潔学長による「高齢期をどう生きるかー良好な人間関係がkeyー」と題する講演がありました。

午後は、第1分科会「会長・役員の後継者育成と会員増強につい



神戸市から参加の皆さん



神戸市のスタッフの皆さん

神戸市からは、第1分科会では神戸市老連松木伸年理事(垂水区老連会長)が助言者に、第2分科会では長田区老連日置一夫副会

て、第2分科会「一人暮らし高齢者や認知症高齢者を見守る地域の連携について」、第3分科会「高齢者の消費者被害防止の取り組みについて」、第4分科会「フレイル予防のためのユニークな文化・スポーツ活動について」に分かれて、事例発表と討議が行われました。

次いで次回開催地となる滋賀県老連会長より来年の日程を発表。最後に近老協野口一郎副会長の閉会の挨拶で、大会は終了しました。

分科会終了後は、いきいきクラブ体操を参加者全員で行い、閉会式にて神戸市老連近藤豊宣理事長が開催地としてのお礼のご挨拶を行いました。



式典の様子



いきいきクラブ体操



座長の日置さん(右)による進行



分科会の様子

令和7年度会長・リーダー研修会

令和7年6月11日(水)神戸文化ホール・中ホールにて、496名が参加したKOBESINIAクラブ会長・リーダー研修会が行われました。

自分らしい最期を考える



活に関する具体的な内容が紹介されました。

神戸市では、65歳以上の高齢者世帯のうち39・2%が一人暮らし、75歳以上の世帯では44・3%にのぼります。将来は75歳以上の半数以上が一人暮らしになる見通しも示され、自分らしい最期を考える大切さが強調されました。

参加者の皆さんは、自分自身や家族のこれからについて改めて考える時間となったようで、メモを取ったり頷いたりしながら熱心に聞き入っていました。

この後、休憩をはさみ映画「ぼけますから、よろしくお願いします。〜おかえりお母さん〜」を鑑賞し、好評裏に研修会を終えました。

